

国・都の動向

・スポーツ庁・文化庁
 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」策定（令和4年12月）
 ・東京都
 「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」、「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」策定（令和5年3月）

区の意識調査の結果（抜粋）

・生徒
 回答者の約9割が部活動に所属している
 そのうち約7割が休日部活動を行っている
 ・教員
 回答者の約9割が運動部・文化部顧問を担っている
 そのうち約半数が経験なし
 ・中学生保護者
 回答者の約8割が外部指導者による指導に肯定的

推進方針

区内で活動を行っているスポーツ・文化芸術に携わる団体等が一体となり、こどもたちが将来にわたりスポーツ・文化芸術に触れあう環境を創出

達成目標

休日の学校部活動を地域クラブ活動へ展開し、教員の負担がない指導体制を構築

策定の背景

部活動の意義と役割

- ・生徒にスポーツや文化芸術の機会を提供
- ・自己肯定感・学習意欲・責任感・連帯感の向上
- ・人間関係の構築、心身の把握、生活指導の効果

持続可能性の低下

- ・少子化により生徒数が減少、チーム編成が困難
- ・部員数減少による休部・廃部

教員への負担

- ・勤務時間外や休日の指導・大会引率
- ・経験のない種目の指導
- ・心身及び業務への過大な負担

部活動の現状

- ・区立中学校24校に307の部活動設置（令和6年12月）
- ・部員総数は7,063名（令和6年12月）
- ・中学校生徒数は8,288名（令和7年5月）
- ・部活動指導員・外部指導員が114部（37.1%）に配置
- ・例年休部や廃部が発生

重点取組1 地域クラブ活動の推進

生徒の活動の選択肢の拡大や教員の負担のない指導体制を構築するため、段階的に休日部活動の地域展開を進めていきます。



重点取組2 地域活動の集約・一体的紹介

区内に点在する多様な活動団体と連携し、中学生が参加可能な情報を集約し、提供する体制を構築していきます。



目標達成に向けた課題

課題1	指導者の質の確保	▶取組	指導者に対する研修体制の創出
課題2	受益者負担	▶取組	適正な参加費の設定 経済的な困窮世帯への支援
課題3	各種団体との連携	▶取組	関係団体等との意見交換や協議
課題4	指導を希望する教員が継続できる環境づくり	▶取組	教員の兼職兼業制度の整備